

2014 年衆議院総選挙
日本記者クラブ党首討論
安倍総理とマスコミ関係者の質疑応答
書き起こし

(ご自由にお持ち帰り・配布 OK です。)

質問者：だんだん時間がなくなってきたんですけど、安倍さんに確認なんですけどね。フェイスブックね、あれは自分でやっておられるのですか。

安倍総理：あの……。フェイスブック、私が運営しているのは、私個人のフェイスブックとですね、これは官邸で出しているものがあります。で、私個人のものについては、私が書く場合とですね、あと秘書が……。秘書が秘書として書いている場合があるということでありまして、なるべくフェイスブックを使って、こういうマスメディア以外でも、多くの方々にですね、タッチをしていきたいと思えます。そこで復興について一言いわせていただきたいんですが、われわれが政権に復帰した際にはですね、例えば高台移転や、公営災害住宅、全く計画すらなかったんですけど、すべての計画を作りました。それは縦割りを排し、現場主義を徹底したからであります。今、高台移転、95%が着工しています。計画は全部できました。災害公営住宅も約 90%着工しています。そして仕事、生業についても間違いなく進んでいるわけでありまして。私も毎月被災地を訪問しておりますが、2年前と比べて何もなかったところに、やっと槌音が聞こえて、仕事ができ、そしてだんだん笑顔と希望が戻ってきたのは間違いありませんが、ただですね、ただ同時にですね、まだまだこの復興は道半ばであることは事実でありますし、20 万人以上の方々が困難な生活を余儀なくされていますから、しっかりとですね、そういうものも進めていきたいと、こう思っております。まあこの、復興についてももっと私はここで議論をするべきではないのかなと、このように思います。

質問者：あの、先ほどなぜフェイスブックを聞いたかと言いますとね、一国の総理大臣がね、いちいち今その、社会現象や起きていることについて、そんな、言うということが、やることなのかという根本的な疑問があるからなんですよ。もっと大きく構えてなきや変じゃないかなというね。そういう疑問があるから、あえてフェイスブックのことを聞いたんです。

安倍総理：これはですね、時代の変化なんですね。これは、まさに私の生の声を聞くというのは、新聞社の方々しか聞けなかったのがですね、フェイスブックを通して市井のみなさんにも届くのは事実であります。そのことでもろんなご批判はいただきますよ。でも、私はあえてその批判は甘受しながらですね、この新しい時代において、私の考え、生の声、こういうことについてどう感じているかということについても発信をしていきたい。フェイスブックというのはそれに対する批判もおりますし、賛同もあります。で、そのフェイスブックに声をよこして、声を寄せていただく方同士の議論もあるわ

けであります。でも、これがですね、いままさに時代において大きな役割を担っているのは事実なんだろうと、こう思うわけであります。官邸のフェイスブックで言えばですね、フィリピンに対して自衛隊が 1200 人派遣されました、災害派遣。これ、もう、圧倒的に世界中のフィリピン人の方から感謝のコメントを寄せていただきました。つまり、フェイスブックというのはそういう役割も担っているんだということも、どうか私はご理解もしていただきたいし、これからもぜひ活用していただきたいし、この選挙戦もですね、この SNS を活用していいということになったんですから、この批判もふくめてわれわれはですね、しっかりと受け止めながら、活用していきたいなと思っています。

質問者：そこで、安倍さんですね、いいですかね。権力と報道ということのひとつ聞きます。11 月 20 日付で自民党の萩生田筆頭幹事長名でですね、民放各局にね、いわゆる中立公正の報道のお願いという文書が届きました。それを見るとですね、きめ細かくですね、その出演回数とかですね、出演時間云々、それから過去の映像をどう使うか、あるいはその街頭の話はどう選択するかについてまでね、いろいろ注文がついてくる。これはですね、過去になかった話ですし、それから諸外国でもあまり聞かない話です。政権政党がですね、その手の、ある意味圧力ともとられる、自粛にもつながることをすべきなのかどうか。これはね、安倍さんにちょっとじっくり考えていただきたい話だと思うんですが、中ではね、実際にね、自粛ムードが生まれているといいますよ、それで自粛する方が悪いかもしれませぬけれどもね、その辺はあなたどうお感じでしょうか。

安倍総理：まずですね、公平公正というのは当然のことなんだろうと思います。公平公正ではなくて、何か思い込みをもって事実ではない報道をしようということがあればですね、その公平公正というのは、なんか刺さるんだろうと。公平公正にやっている方々は当然、公平公正にやっていただければいいのであって、米国はですね、フェアネスドクトリンがテレビにはないんです、フェアネスでなくていいんです。自由にやっていいです。しかし、日本は放送法があってフェアネスドクトリンというのがありますから、そこは米国とは全然違うんだということは申し上げておきたいと思いますし、やっぱりですね、例えば、例えばですね、その一方的にある党をおとしめようとして……

質問者：あれは安倍さん

安倍総理：ちょっといいですか。おとしめようとしてやっていけば、できるわけでありますから、しかし、それは当然ですね、公平公正にやっていけば全然問題はないんだらうと思うわけであります。

質問者：あれは、安倍さんのご意向ですか。

安倍：いちいち私はそんな指示はいたしません。党としてですね、そういう考え方でやったんだらうと思いますが、公平公正に、もしやっておられるのであれば、何の痛痒も感じられないのではないのかなと思います。

質問者：なんでそこを信用できないんですか。

安倍総理：でも今まで、例えば、かつてですね、樫事件というのがありましたよね。

質問者：あれとは違いますよ。

安倍総理：いや、でもありましたよね。それで、あの時、わが党は、この問題がかつて細川政権ができたわけでありますが、あれとこれは違うじゃなくて、まさに、ああいう問題が起こってはならないということも当然あるわけです。

質問者：わかりました。



切り開く青空人

2011年3月からアフィリエイトを開始して、
7か月後の2011年9月に売上が月10万円を突破しました。

2011	年	9	月売上	検索		
アフィリエイト件数	アフィリエイト報酬	2ティア件数	2ティア報酬	合計販売数	総売上	
35	¥126,467	0	¥0	35	¥126,467	

さらに報酬を積み重ねていき、
2014年には500万円以上稼いでいます。

累計売上

アフィリエイト件数	アフィリエイト報酬	2ティア件数	2ティア報酬	合計販売数	総売上
1,349	¥5,341,844	50	¥12,498	1,399	¥5,354,342

そして現在、ネットビジネスコンサルタントとして活動していて
私は以下の媒体を運営しております。

●青空塾ブログ(ネットビジネスで収入を稼ぐ成功方法を暴露)

<http://www.vinci.jp/>

●アフィリエイト情報商材レビューサイト(詐欺商材撲滅活動も)

<http://www.spcourt.com/>

●無料メール講座

<http://www.vinci.jp/netbusinesskouza/freemailcourse/>

なお、私の詳しいプロフィールと実績をみたい方は
以下のページをご覧ください。ただただければと思います。

<http://www.spcourt.com/rinkkei/syokai.html>